

2017 年度前期 CODE 未来基金 募集詳細

○CODE 未来基金設立の背景

国際社会において NGO が注目されつつある中で、10 代～20 代の阪神・淡路大震災前後に生まれた若者の活躍が目立っています。2015 年 1 月に行われた「阪神・淡路大震災から 20 年 市民と NGO フォーラム 2015」では多くの若者が活発に意見を交わし、経験を重ねてきた大人たちが目を見張るほどの盛り上がりを見せました。この若者たちのエネルギーと発想が輝くことで、より良い社会づくりが見えてきます。CODE は若者の活躍できる先駆的な NGO として「CODE 未来基金」をスタートしました。2016 年度の募集では「若者が企画するフィールドワーク」2 件が選考委員会による審査を経て採択され、今年 8 月には若者がフィリピンの被災地を訪れ、多くの学びを得ました。

○CODE 未来基金とは

CODE 未来基金はインターンシップや海外の被災地でのフィールドワークを通して、災害救援 NGO で働く意思のある若者が NGO について関心を持ち、働くための一歩を後押しするための基金です。若者が自分のやりたいことを実現するために悩み続け、答えを災害救援 NGO に見つけたとき、CODE は若者がすぐにでも足を踏み入れられる魅力ある場所でありたいと思います。未来の社会をつくる若者が災害救援 NGO で働くという選択肢を持ち得るように、若者と CODE 未来基金は共に育っていきたいと考えます。

○CODE 未来基金がめざすこと

- ・災害救援 NGO で働くことをめざす若者をサポートすることで、次世代の NGO を担う人材を広げます。
- ・若い NGO スタッフが日々の生活や将来を設計し、安心して働くことができるような環境をつくれます。
- ・若者が NGO に関心を持つ機会を広げ、NGO を若者が実現したいことを叶える場としていきます。
- ・就職活動の際に NGO で働くことが選択肢の一つになるような社会をめざします。

○CODE 未来基金 2017 年度後前期の実施プログラム

「未来へつづくインターンシップ」

「若者が企画するフィールドワーク」

「若者と学びあう NGO セミナー」

◇未来へつづくインターンシップ

概要：CODE もしくはそれに準ずる災害救援 NGO で 3 カ月から最大 6 カ月のインターンシップを行い、その間の人件費、交通費を支給します。インターン期間中に災害 NGO の仕事への理解、必要なスキルを学び、実践していきます。

対象：10 代から 20 代までのこれから災害救援 NGO で働く意思を持つ若者。

NGO に必要なよりハイレベルのスキルアップを目指す若者。

手当：インターン期間中は CODE の基準にもとづく手当、交通費の支給があります。

(交通費上限：3万5000円)

募集人数：1～2名／年

◇若者が企画するフィールドワーク

概要：CODE がこれまで支援をした国を対象国として若者がフィールドワークを企画し、実践します。

対象：CODE が支援を行っている中国・四川省、フィリピンまたはネパールで実施する10代から20代の若者が企画したフィールドワークプログラム。プログラムは複数名が参加できるものとします。CODE の支援内容は別紙をご参照ください。

助成金額：渡航費の半額及び現地活動費用（参加者全員の助成上限：50万円）

募集件数：1～2件／年

企画したプログラムの参加人数：2～5名

◇若者と学びあう NGO セミナー

概要：NGO や災害、国際協力をはじめ様々な分野の講師を招いて行うセミナーを若者自身が企画し、開催します。

対象：NGO に関係する分野で、10代から20代の若者が企画したセミナープログラム。

助成金額：1件あたり10万円まで

募集件数：1～2件／年

○必要書類：

- ・ CODE 未来基金 2017 年度前期 申込書
- ・ 履歴書
※申込書、履歴書はホームページ (info@code-jp.org) にフォームがあります。
- ・ 在学証明書（事業実施予定時点で学生の方のみ）
- ・ 語学、資格証明書のコピー
- ・ 保護者同意書（事業実施予定時点で未成年の方のみ）

○募集期間、選考日程：＜2017 年度前期＞

12 月	応募期間 12 月 1 日～2 月 28 日
1 月	説明会開催
2 月	
3 月	選考委員会による選考及び面接
4 月～	採択されたプログラムを実施

○具体的なフロー

1. 説明会への参加（12月～2月）

内容－CODE 未来基金の紹介や申込書類の書き方の説明会を行います。説明会の後、CODE 未来基金スタッフがプロジェクト内容などについて個別相談会を行います。できる限り、説明会にはご参加ください。説明会の日程に関しては HP や配信する ML をご参照ください。また日程が合わない方には随時個別相談も行っております。

2. 応募に向けての面談（11月～2月）

内容－長期間のインターンを予定しているため進路や就職活動などとの兼ね合いが予想されますので、ぜひご相談ください。

3. 応募（締め切り 2月28日必着）

内容－締め切りまでに各必要書類を記入の上、CODE 事務局まで郵送、または直接お持ちください。受付完了の際にはこちらからご連絡させていただきます。

4. 選考委員会による選考及び面接（3月）

内容－書類審査を通過した応募案件は CODE 理事と外部有識者を加えた選考委員会による面接及び最終選考を行います。選考結果は3月中に郵送にてお知らせします。

5. プログラム調整（4月以降）

内容－選考委員会による審査を通過した応募案件は、無理のないプログラムとするために企画者と同行する CODE 事務局の話し合いにより調整を行います。

6. 実施

内容－採択されたプログラムを実施していきます。CODE 事務局が全面的にサポートしながら充実したインターンワークを若者とともにつくっていきます。

7. 報告

内容－奨学金でのサポート実施後は報告会や報告書などを通して自身の評価や学びを示していただきます。

○報告に関して

全てのプログラムで終了後1カ月以内の報告義務があります。

○返済に関して

原則返済義務はありません。ただし、プロジェクトで使わなかった余剰金に関しては返還していただきます。

また、対象、目的と合わない場合には一部、または全額返還していただくことがあります。

○お問い合わせ

CODE 海外災害援助市民センター 担当：上野智彦

〒652-0801 兵庫県神戸市中道通 2-1-10

TEL：090-5857-6794 FAX：078-574-0702 E-mail：info@code-jp.org